

田辺 圭さん (NPO 法人ピースウィンズ・ジャパン職員)  
2011 年度 4 次隊 青年海外協力隊  
派遣国：キルギス 職種：野菜栽培

2020 年 9 月 6 日 (日) 中国新聞 SELECT 掲載

※中国新聞社の許諾を得ています



## 農業に挑戦 経験を今に

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、働いている NPO が医療・福祉施設へマスクやビニールガウンの支援を始め半年がたつ。大量の物資を発送するさなか、国際協力機構 (JICA) の海外協力隊員が新型コロナの影響で全員帰国していることを知った。

活動が大詰めだった隊員や、現地での語学訓練が終わり本格的に活動に入ろうとしていた隊員など状



派遣されたキルギスでの農業指導

況はさまざまだろう。志半ばで帰国し、無力感ややるせなさでいっぱいだろうと想像する。

私が青年海外協力隊としてキルギスに派遣されたのは 2012 年 3 月。農業隊員として派遣されたが、任地は標高約 1700 ㍎にある高地で、1 年の半分は冬と言ってもいいくらいの気候だった。農業のシーズンは短く、できたことと言えば野菜の栽培暦の作成・配布と展示栽培だった。

今思えば自己満足のような活動ばかりで、「現地の農業に貢献したい」という着任当初の目標とはかけ離れたものだった。それでも、農業ができない冬は子どもたちに日本語を教えたり一村一品活動に関わったり、自分でできることを探し、頼まれたことは何でも引き受けた。

帰国してからは、NPO 法人「ピースウィンズ・ジャパン」で、主に国内の災害支援に取り組んでいる。緊急時の捜索・救助活動から避難所での支援、その後の復興支援まで活動の幅はとても広い。大変な仕事ではあるが、協力隊の時のようにどんなことにも挑んでいる。コロナ禍でも災害は起きる可能性がある。被災地での活動が制限される中、少しでも誰かのためになれるようできることに挑戦していきたい。